

平成 26 年 11 月 14 日

各 位

国際石油開発帝石株式会社
経営企画ユニット
調査・CSR グループ
(電話 03-5572-0230)

【CSR トピックス】
オーストラリア イクシス LNG プロジェクト
ダーウィン湾沿岸地域に関する環境モニタリング報告会について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、当社がオーストラリアでオペレーターとして推進するイクシス LNG プロジェクト（以下、本プロジェクト）において、このたび、地域のステークホルダーに対して、本年 7 月に終了した浚渫作業による周辺環境への影響をまとめた環境モニタリング報告会を開催しましたので、お知らせします。

当社は、オーストラリア連邦政府や北部準州政府と緊密に連携し、ダーウィン湾内における浚渫作業および陸上ガス液化プラント建設作業が及ぼすダーウィン湾やその沿岸地域への環境影響のモニタリングを 2012 年より継続的に実施しております。実施している環境モニタリングは、ダーウィン湾内に生息するサンゴ、マングローブ、海藻、イルカ、ジュゴン、ウミガメ、魚などの健康状態に関するモニタリングやダーウィン湾の水質モニタリングなど、計 13 のプログラムで構成されています。

今回の報告会の中では、ダーウィン湾内における浚渫作業による周辺環境への影響は、当初の予測と同程度もしくは軽微にとどまったことが報告されました。

また、周辺地域における生息生物の多様性調査において、湾内のマングローブ林でこれまで生息の記録がなかった生物が新たに確認されるなど、当社が実施しているモニタリングが、当社のみならず地域社会や研究者にとっても貴重なデータを提供することとなりました。

環境モニタリング結果の詳細レポートにつきましては、イクシス LNG プロジェクトのウェブページよりご覧いただけます。

<http://www.inpex.com.au/our-projects/ichthys-lng-project/ichthys-commitments/environment/reporting-monitoring-results/>

当社は、今後とも環境に十分配慮しつつ事業を実施してまいります。



報告会の様子



ダーウィン湾でのモニタリング作業

イクシス LNG プロジェクト

イクシス LNG プロジェクトは、当社が操業主体（オペレーター）としてトータル社、東京ガス、大阪ガス、中部電力および東邦ガスとともに、オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設するガス液化プラントにて液化し、年間 840 万トンの LNG（液化天然ガス）および年間 160 万トンの LPG（液化石油ガス）として生産・出荷するとともに、FPSO 等から日量約 10 万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する計画です。本プロジェクトは、40 年という長期にわたっての稼働が見込まれる世界的にも大規模な LNG プロジェクトです。当社は、1998 年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て 2012 年 1 月に最終投資決定しました。現在、2016 年末までに生産を開始すべく順次開発作業を実施中です。

特設サイト・イクシス LNG プロジェクト

イクシス LNG プロジェクトの詳細は、特設サイトにてご確認ください：
<http://www.inpex.co.jp/ichthys/index.html>